

シンポジウム大阪開催ご案内

テーマ：構造設計者の使命・目標・責任に関する討論会

— 提言「建築の構造設計—そのあるべき姿」 —

NPO法人建築技術支援協会は、ベテランから若い人、専門家から一般の人への正しい建築技術の橋渡し役を務めてきました。このたび、構造技術者の討論を支援することを目的に、建築学会から発行された「建築の構造設計—そのあるべき姿」をテキストとして表題のテーマにより全国各地でシンポジウム・パネルディスカッションを行うものです。

耐震偽装問題発生から5年が過ぎ、建築基準法の改正、建築士法の改正が行われ法体系は整備されましたが、最も重要な、構造技術者自らの、使命・目標・責任等についてのたがいに議論する場がないままにきています。建築学会のこのテキストはこれらを考えるに由来するテキストです。

主催：NPO法人 建築技術支援協会（略称：サーツPSATS）

共催：（社）日本建築構造技術者協会（JSCA）、JSCA関西支部

後援：（社）日本建築学会近畿支部（予定）

*このシンポジウムは(財)建築技術普及センターの普及事業助成によるものです

日時：2011年3月15日（火曜日） 13:20～17:00

会場：大阪市立大学 [文化交流センター](#)（大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階）

- 内容：1) 挨拶 和田 章 東京工業大学教授 13:20～13:30
- 2) 『「建築の構造設計のあるべき姿」に思うこと』
—理解しやすい耐震性能評価法の開発を目指して— 13:30～14:10
倉本 洋 大阪大学教授
- 3) 提言「建築の構造設計—そのあるべき姿」 14:10～14:40
金箱温春 (有)金箱構造事務所代表
- 4) 提言から—構造設計者の役割・職能—を考える
「阪神淡路大震災を経験して」 14:40～15:00
角 彰 (財)日本建築総合試験所
- 5) 提言を—設計例—で考える
「巨大地震に備えて」 15:00～15:20
近藤 一雄 (株)東畑建築事務所
- 6) 提言から—法制・目指すもの—を考える
「建築基本法でリストラを」 15:20～15:40
永谷 芳郎 (株)能勢建築構造研究所
- 休憩 — 10分間
- 7) パネルディスカッション(討論) 15:50～17:00

参加費：無料

テキスト：「建築の構造設計—そのあるべき姿」(建築学会)定価1200円(税込割引価格)会場
で販売いたします テキストを既にお持ちの方はご持参ください

◆本シンポジウムは(社)日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価点対象シンポジウムであり、建築CPD情報提供認定プログラムです。

[参加申込](#)